

ハイリスク薬品管理棚の薬局への導入について

タイヘイ薬局メディカルモールしろいし店
辻 宗一郎

【目的】

ハイリスク薬は安全管理を誤ると健康被害をもたらしうる医薬品である。そのため、ハイリスク薬の適正管理は薬剤師の重要な業務の1つであるといえる。今回はハイリスク薬の管理業務における調剤機器導入の有益性を調査した。

【使用機器】

当薬局ではTOSHO製のハイリスク薬品管理棚「Pandora®」を導入し、調剤業務の補助に活用している。当機器は処方せんの入力内容に基づき、指定された引き出しのみが開錠されるため誤調剤を防止することができる。また、医薬品の払出の記録および在庫のデータ管理も可能である。

【結果】

機器導入後の調剤過誤の発生件数について調査を行った。調査期間は2015年11月～2017年6月である。当該期間中の採用医薬品における過誤は5件、いずれも計数調剤ミスであり、規格間違いや別薬調剤などの事例はなかった。その他、業務上の利点として、医薬品の払出の記録と在庫の集計データを照合することにより、調剤ミスの発見、把握が容易になったことがあげられる。

【考察】

機器の導入により規格間違い、別薬調剤のリスクは低下させることができると考えられる。これは重大な健康被害に発展するような調剤過誤の防止に非常に有益である。しかし、機器の性質上、計数調剤ミスなど的人為的なミスについては注意を要する。機器を用いない場合と同様に、薬剤師の調剤・鑑査の精度を向上させることは重要である。